

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	第1章から第5章の指針を軸に、短時間で区切った具体的な目標を職員間で相談して設定してみたい。区切りの時、評価しやすい目標にすれば、次のステップアップに必ずつながるだろう。	月単位で、目標を決め全員で実践できるようにする。	ミーティング時職員間で目標を決め次回のミーティング時どれだけ達成できたかを話し合う。	6ヶ月
2	2	ホームの近所の方がたとの付き合いは良くできていると思うが、さらに幅を広げて町内会の方がたや公民館等のつながりを広めていく努力は続けて欲しい。	地域の方と職員、利用者も交流が出来るようにする。	家庭菜園をしているので通りがかりに地域の方が気にかけてくださるので、職員、利用者も挨拶をしたり、畑の作り方を聞いたりしている。	6ヶ月
4	3	会議は確実に実施されているが、参加者の意見交換の詳細なメモが残されていない為、次へのステップにつながりにくい。ホームの問題点についても職員サイドから提起してみると良い。	もっと細やかな内容を残すようにする。	参加者の意見や雑談、出席していない職員からの意見も記入していくようにする。	6ヶ月
10	6	ホームのイベントは数多く計画されているので、集まりやすいイベントから家族の参加を積極的に提案してみてもどうか。ホーム運営に関する利用者側の意見を引き出しやすい場面を設定してみたい	大きなイベントには必ず家族参加していただく	招待状を出すなどして、出来るだけイベントに参加していただくよう試みる。	6ヶ月
20	8	会話の糸口、キーワードは「三井造船」と言っても過言ではなく、共通の話題で会話ができ、利用者同士の関係にも良い効果を生んでいるので、この和やかな雰囲気が今後も継続していく事を期待していく。	現状を維持していく。	ホームから見える三井造船やお寺を話題に利用者の興味のある話題で会話が弾むようこれからも継続していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。